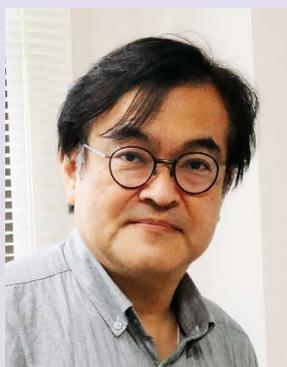


機能回復の神経科学

Neural mechanism of functional recovery
after spinal cord injury

日時 平成29年6月22日(木) 16:00～17:30

場所 外来診療棟 6 F 大講義室



講師 伊佐 正 教授

京都大学大学院 医学研究科
高次脳科学講座 神経生物学分野

我々は、ヒトの近縁種であるサルにおいて、頸髄レベルで皮質脊髄路を損傷しても、訓練によって手指の巧緻運動が相当程度回復するというモデルを用いて、特定の回路が損傷された後、他の回路が機能を代償するメカニズムを研究してきた。その結果、たとえ脊髄損傷であっても、機能回復は脊髄だけでなく、大脳皮質の運動関連領域、さらには側坐核などの辺縁系を含む大規模な回路の動態変化というかたちで起きていることが明らかになってきた。講演では、このような結果に鑑みて、今後の機能回復戦略について考察してみたい。

先端医学トピックスの講義としても開講します

コーディネーター：システム生理学分野 教授 和氣 弘明
主催：シグナル伝達医学研究展開センター

連絡先：研究支援課研究企画係 Tel：5195/mail：k9shien@med.kobe-u.ac.jp